

「地域を元気にする」

四国中央市カーボンニュートラル協議会事務局
株式会社日本政策投資銀行



この人に聞きました
(株)日本政策投資銀行
四国支店 業務課長
原 保夫 さん



(株)日本政策投資銀行
四国支店 業務課
ひろあき
石川大朗 さん



四国中央市カーボンニュートラル 実現に向けたロードマップ策定！



戦 後の経済復興を目的に設立された「日本開発銀行」と「北海道東北開発公庫」が母体となっている当行は、重工業などエネルギー多消費型産業の設備投資をバックアップしてきた歴史があります。経済復興を遂げた現在、カーボンニュートラルに取り組もうとする企業を支援することが、当行が果たす一つの役割であると考えています。

当 行が事務局を務める「四国中央市カーボンニュートラル協議会」では、この度2050年のカーボンニュートラル実現に向けたロードマップを策定しました。ロードマップは、当協議会の幹事会員である大王製紙様、丸住製紙様、愛媛製紙様を始め、連携していただいた産業・行政・大学・金融機関の皆さまが、四国

中央市の未来について議論を重ねた結果、魅力的で実現可能なものになりました。市や当行のホームページで公表していますので、ぜひご覧ください。

口 ードマップには、水素やアンモニアなどの新しい燃料への転換といった大きな取り組みが含まれています。しかしこれらは全て、太陽光発電や電気自動車等の導入といった、現在も行われている取り組みの延長線上にあります。「脱炭素しなければ」と考えると、それは「コスト意識」になります。カーボンニュートラルを「付加価値」と考えると、新しいビジネスになります。「脱炭素」、「カーボンニュートラル」という新しいブランドは、人を呼び込み、新たなビジネスチャンスを生み出します。

日 本一の紙のまち四国中央市は、CO₂排出量でも四国有数となっています。しかし、地域をあげてカーボンニュートラルに取り組むことで、世界一魅力的なまちになり得ると考えています。「地域を元気にする」ことを目的としている当行も、金融機関として、また協議会の事務局として、引き続きこの地域のカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

当 協議会やロードマップは、四国中央市をより良い形で未来に残していきたいと考えている皆さまの「結節点」です。多くの事業者さまのご参加をお待ちしています。

問い合わせ先

日本政策投資銀行 四国支店
087・861・6675